



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

# 鶴岡ロータリークラブ

ロータリー：  
変化をもたらす

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10)  
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成30年2月20日(火) 第2836回例会 (本年度第29回)

3月6日(火)	ゲストスピーチ 菅 秀二氏
3月13日(火)	移動例会⇒16日(金)うどん・そば打ち家族例会 会場:華夕美日本海 17時
3月20日(火)	RI規定休会
3月27日(火)	夜例会 インフォーマルミーティング



メール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

## 会長報告

会長/木村 節

2月も下旬に入り、漸く春らしい日もあり確実に春が近づいていると感じる今日この頃です。

さて、4月7日(土)に開催される東京東江戸川ロータリークラブのインフォーマルミーティング及び観桜会への会員皆様からの多数ご参加頂きたいご案内、また、4月鹿兒島西ロータリークラブへの当クラブ60周年ご参加依頼の訪問についてご案内させていただきます。どちらも4月の行事予定ですが早めのご案内を申し上げます。

さて、当館も2月末をもって耐震改修工事が完了致します。リニューアル工事につきましては引き続きの工事となりますが、お客様各位におきましては多大なご迷惑をおかけしており、今少しのご不便をお掛けいたします。

来月早々より次年度行事が始まります。私も去年の今頃は非常に忙しかったことを思い出すも次年度の役員の皆様には今後ともよろしく願います。

## 幹事報告

幹事/佐藤 詩郎

### ○ガバナー事務所

2018 学年度 米山奨学生 サブ世話クラブ募集のお知らせ

### ○東京東江戸川ロータリークラブ

インフォーマルミーティング及び観桜会開催のご案内 日時:4月7日(土)  
☆インフォーマルミーティング

場 所:タワーホール船堀 2F「福寿の間」  
受 付:14:30~ 点鐘:15:00  
登録料:2,000円

### ☆観桜会

場 所:集合場所 都営新宿線「瑞江駅」集合

屋形舟「あみ達」03-3655-2780

登録料:10,000円

宿 泊:瑞江第一ホテル 一泊8,900円

### ○立川ロータリークラブ

立川ロータリークラブ解散について

平成30年6月30日をもって解散することになりました。

## 羽前絹織株式会社の歴史と業務について

羽前絹織株式会社 代表取締役 阿部 純次君



弊社は1906年(明治39年)に創立された当地方で最も古い織物精練会社の一つです。

創業以来、羽前織物として有名な羽前羽二重(はぶたえ)、羽前縞子(しゅす)などの絹織物を生産する羽前織物株式会社の精練工程

を担い発展してきました。

1924年(大正13年)3月、鶴岡織物株式会社系の精練会社を吸収し、羽前織に加え人絹など鶴岡地域の各種織物を扱うようになりました。

1925年(大正14年)10月15日、後の昭和天皇、東宮皇太子殿下が東北行啓の際、当社工場をご視察。社の関係者が拝謁しました。

1929年(昭和4年)人造絹糸織物への対応と染色業への進出のため、輸出絹織物染色工場設備を新設し、染色業としての届けを商工大臣に提出しました。

1936年(昭和11年)人造絹糸織物の精練・染色高が本絹に対して50%を占めるようになり、人絹にシフトしながら精練事業を拡大。しかし、戦況の悪化とともに1939年(昭和14年)下半期から精練染色の原料品、燃料の入手難に陥り、経営状態

出席報告	会員数	31名
	出席	20名
	出席率	68.97%
	前々回確定出席率	75.86%

RI会長 イアンH.S.ライズリー 地区ガバナー 鈴木 一作

会長/木村 節 副会長/菅原成規 幹事/佐藤詩郎 会長エレクト/武田啓之  
会報委員会/阿蘇司朗・菅原成規・迎田 健・前田 優・真島吉也

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

は次第に悪化していきました。

そんな折 1940 年（昭和 15 年）1 月 22 日、工場火災により建物の大半を失いました。戦時統制の強化、欧米への貿易が途絶えたことで染色原料の入手が困難になり、さらに原料燃料の配給割当の減少により、加工数量は最盛期の 3 分の 1 に減少。山形県織物整理精練有限会社に営業権を譲渡することになり、羽前絹練株式会社としては操業を停止しました。

戦後、1950 年（昭和 25 年）日本蚕糸會総裁の貞明皇太后陛下が、当時まだ山形県織物整理精練有限会社鶴岡工場という名称だった当社を訪問され、熱心に工程を視察されました。

1951 年（昭和 26 年）3 月に山形県織物整理精練有限会社は解散、同年 5 月、操業を引き継ぎ再び羽前絹練株式会社として再出発を果たしました。しかし、1963 年（昭和 38 年）頃から、合成繊維の台頭、1971 年（昭和 46 年）の繊維製品をめぐる日米貿易摩擦、さらに 1972 年（昭和 47 年）以後中国の絹織物が輸入され産地間競争が益々熾烈に。全国の絹精練業者が合成繊維加工に転換していく中、当社は絹織物精練に留まり、積極的に県外に営業活動を展開し、設備投資を行いました。

市場が縮小する中、国内絹織物産地から精練加工の受注が当社に集中。後進地域としてのハンデを逆手に取った「残存者利益」という生き残り戦略で経営危機を乗り越えてきました。

その後、捺染部門に進出し業務を多角化。スカーフ、マフラー、アクセサリ商品のブームに支えられ精練、染色、プリント業務が拡大。伝統的な絹織物製品を凌駕する大衆向けの新製品の販売に成功。その後幾多の困難を克服しながらも、1985 年（昭和 60 年）のプラザ合意や 1991 年（平成 3 年）の湾岸戦争勃発などに起因する輸出の不振、バブル経済の崩壊や長引く平成不況など深刻な需要停滞の中、新規技術の特殊加工（ピーチ加工等々）部門の充実を図るなど、常に新たな可能性を模索し経営改善に取り組んでいます。

当社の主な業務の流れをご紹介致します。大きく分けて「精練」、「染色」、「水洗加工」、そして「仕上げ後加工」の工程に分けられます。

**精練**——繭からとったばかりの天然の繊維には、セリシンという蛋白質が付着していて、ごわごわしています。美しく光沢のある絹の生地を作るためには、そのセリシンを取り除かなければなりません。そこで、生地を大きな釜のお湯に浸けてセリシンを溶かして出す作業を行います。それを精練といいます。

**染色**——生地が精練された後、注文された色に生地を染める「染色」という工程に移ります。この工程では、染色する布の素材や生地の厚さ、長さなどに合わせて染料の配合に細心の注意を払います。

機械にかける際にも、染料の配合だけでなく温度の調整や時間の管理まで徹底した作業が行われます。ムラのない、綺麗な染め上がりの生地はこうして生まれます。

**水洗加工**——次の「水洗加工」は、捺染された生地之余分な染料と糊を洗い流し、色をしっかりと固着させ、デザイン性にあふれた鮮やかな模様を生み出します。

当社の特殊加工技術を紹介し卓話を終わりたいと思います。

**オパール加工**——織物中のセルロース繊維を酸化させ、透かし模様を現す加工。

**樹脂加工**——ネクタイ用生地のハリ付け、シルク生地の硬仕上、造花用硬仕上など。

**毛焼き加工**——生地表面のケバを焼き取る加工。

**オイリング**——布の表面のケバを抑え、つや出し加工を行う。

**ストップ止め**——生地のヨレを防ぐ加工。

**ピーチ加工**——生地表面にうぶ毛のようなケバを作り、柔らかい風合いをあたえる加工。

**柔軟加工**——布に柔軟で平滑な感触やしなやかな風合いを与える加工。

**UV カット加工**——紫外線防止加工。

**防燃加工**——布を燃えにくくする加工。

**撥水加工**——布の表面に撥水性を与え、水に濡れにくくする加工。

**清涼加工**——肌に触れた時に涼やかになる加工。

## 委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

青少年交換学生 ジャスティン君

◆メイクされた方

藤川享胤君 阿部純次君 木村節君 榎本久静子君  
越智茂昭君 佐藤詩郎君 佐藤友行君 菅原成規君

## スマイル

富樫松夫君 阿部さん会社案内をして頂き有難うございます。地域発展の活躍をお祈り致します。

佐藤孝子君 阿部さん卓話ありがとうございました。

富田喜美子君 レトロな建物での絹練作業は興味津々ものです。お忙しいなかスピーチを有難うございました。

阿部純次君 会社紹介の機会をいただきありがとうございました。

## ☆☆☆ 予 告 ☆☆☆

来週例会のゲスト菅秀二氏は西郷隆盛と親密な関係を持った菅実秀の玄孫です。菅実秀作の漢詩を会員が吟じゲストへの敬意を表します。是非ご出席ください。